



1/15 日頃の感謝の気持ちを込めて『ありがとうの手紙』作文コンクール表彰式

児童生徒の優しい気持ちを育むことを目的に開催された『第14回うるま市ありがとうの手紙作文コンクール』の表彰式が、生涯学習文化振興センターゆらてくで行われ、入賞した70人の児童生徒へ表彰状が贈られました。

児童生徒らは、家族や友人、自然に対する日頃からの感謝の気持ちを作文に綴りました。



1/29 作文に込める人権への思い 人権作文コンテスト入賞報告

作文を通して、中学生の人権への理解と、豊かな人権感覚を身に付けることを目的として毎年開催されている「中学生人権作文コンテスト」。

応募総数6,362点の中から入賞した8名の生徒と、学校賞を受賞したあけな中学校と彩橋中学校の関係者が、嘉手刈教育長に受賞の報告を行いました。



2/3 栄野比ゼット 生涯スポーツ優良団体表彰受賞

少年野球チーム「栄野比ゼット」が沖縄県から生涯スポーツ優良団体として表彰を受け、その報告のため市役所を訪れました。

この賞は、栄野比ゼットが長年にわたる少年野球をはじめとしたスポーツの普及発展と、地域行事への参加などが評価され、沖縄県知事から表彰されました。



1/29 女子サッカーで2連覇！ あげな中学校女子サッカー部 優勝報告

県中学校女子サッカー選手権大会において、安慶名中学校女子サッカー部が2連覇を果たし、嘉手刈教育長へその報告を行いました。

キャプテンの外間璃子さん(2年)は、「決勝は苦しかった」と振り返りながら、「5月下旬の夏季大会で優勝し、九州大会に行けるよう頑張りたい」と次の大会に向けての目標を力強く述べていました。



2/12 常勝!! 与那城小女子バスケット U12 全九州大会制覇!

与那城小学校ミニバスケットボール部は、1月に行われた『第40回U12全九州バスケットボール大会』で見事優勝を果たし、島袋市長へ喜びの報告を行いました。

同部は今年度6本の優勝旗を獲得。3月末に東京都で行われる全国大会にも出場が決まっています。

キャプテンの田原実季さん(6年)は、「最後の大会。全国でもベストを尽くしたい」と意気込みました。



1/30 投票を呼びかける作品多数 明るい選挙啓発ポスター表彰式

小中高生を対象に開催された「明るい選挙啓発ポスターコンクール」の表彰式が行われました。

315作品の応募の中から42作品が入選しました。そのうち、上原邑菜さん(赤道小6年)の作品が県優秀賞に選ばれました。



1/29 初優勝! 次は九州大会! 与那中女子ソフトボール部 優勝報告

女子中学生新人ソフトボール大会において、与那中学校女子ソフトボール部が初優勝を果たしました。

今回の優勝で、2月に宮崎県で行われる全九州中学生女子ソフトボール大会へ派遣が決定。キャプテンの大庭優芽さん(2年)は九州大会に向けて「これまで以上にチームワークを磨いていきたい」と抱負を述べました。



1/22 ブラジルの名門サッカークラブ うるま市で初キャンプ

ブラジルのサッカークラブ「SCコリンチャンス・パウリスタU23」が本市でキャンプを実施するにあたり、市役所西棟前で歓迎セレモニーが開催されました。

島袋市長は「うるま市でキャンプが実施されることを大変うれしく思う。心から歓迎します」と歓迎の挨拶すると、ジョゼ・エジソン監督は「温かい歓迎に感謝します」と述べました。



1/17 地域スポーツへ多大な貢献 瑞慶覧昭氏 功労者表彰

長年にわたり地域スポーツの普及振興に尽力したとして瑞慶覧昭スポーツ推進委員が、11月に行われた『第60回全国スポーツ推進委員会研究協議会』において、功労者表彰を受賞し、島袋市長へ喜びの報告を行いました。

また、同協議会で市スポーツ推進委員会も優良団体表彰を受賞しております。



1/16 障害者福祉の功績をたたえ 市内各福祉団体が功労者受賞

身体障害者福祉に携わる市内の4団体が、県身体障害者福祉大会において功労者表彰を受け、その報告のため市役所を訪れました。

＜受賞団体＞
・朗読ボランティアすだち
・点字サークル点訳工房
・リーディングサービス いしかわ相思樹の会
・手話サークルうるま



1/18 新たなうるまの魅力を発掘 勝連城跡で野外レストラン

食を通じて地域の持つ自然・文化・歴史を表現することをコンセプトとした野外レストランイベント「ダイニング・アウト」が勝連城跡で開催されました。

同イベントは、多くのメディアや雑誌等に取り扱われる注目度の高いイベントで、県内では今回が3回目の開催。

参加者らは、うるま市産の食材を使った料理と、ライトアップした勝連城跡をバックに行われた現代版組踊「肝高の阿麻利」を堪能し、うるま市の魅力を感じていました。



1/23 うるま市産の電気自動車誕生! 津堅島で実証実験

うるま市では、(一般社団法人ものづくりネットワーク沖縄とヤマハモーターパワープロダクツ(株)が共同開発を行い、製造・塗装までを市内企業が担う「うるま市産」の電気自動車を、ガソリンスタンドのない津堅島でコミュニティバスとして活用する実証実験を2月から行っています。

電気自動車は、時速20km未満で公道を走行することが可能。家庭の電源で充電することができ、排気ガスも出さないため、環境へ配慮された乗り物となっています。

実証実験の開始にあたり島袋市長は「実証実験の成果で、本市の地域経済振興や雇用の創出に繋げ、離島に住んでいる方々が輝く生活が出来るよう、うるま市の均衡発展を目指していきたい」と同事業への期待を述べました。



1/24 火災から文化財を守れ! 世界遺産 勝連城跡で防火訓練

昭和24年1月26日、現存する世界最古の木造建造物である法隆寺金堂の壁画が、火災により焼損したことに基づき制定された「文化財防火デー」。市教育委員会は、この日に合わせて世界遺産勝連城跡で防火訓練を行いました。

昨年10月の首里城正殿の火災が記憶に新しいなか行われた訓練では、うるま市消防本部による迅速な消火訓練や消火器の取扱訓練のほか、ふくよか保育園の園児らによる防火演技も行われました。

嘉手刈教育長は訓練の参加者に対し「勝連城跡を守り、多くの方々に安心して見学していただくためにも、防火に対する意識を持つことが必要」と呼びかけました。